

全日本ダート トライアル選手権 第1戦CMSC勢1~3位独占! 北村和浩選手(CMSC岐阜)第1・4戦を優勝!



CMSC岐阜 北村和浩

全日本ダートトライアル第1・4戦優勝

昨年の11月、オールスター（広島）に行く途中で
もらい事故に遭い足を骨折し、二ヶ月間の入院生活。
そんな中でランサーE V IIの話が話題になるたびに、
焦りが出始めて来ました。

今年1月退院。ランサーE V IIも注文し、とんと
ん拍子に事は運んだと思いきや、納車が遅れている、
それに足回りが悪い等で、またもや焦りました。困
った時の会長頼みで何とか車も仕上がりにいざ本番。
今までのうぶぶんを一気に晴らすかの様にアクセル
を踏み込みベストタイム。昨年暮れから車に乗る機
会も少なくそんな中でのダートラ1戦目で優勝でき
た事は非常に嬉しかったです。

2戦、3戦はそこそこのタイムは出るが勝てませ
んでした。いまいち納得が行かないうちに4戦目
が始まってしまいました。1本目はフラットなコース。
「これなら勝てる」そんな思いからかタイムが伸び
ない。2本目。勝つと思わず自分の走りをしようと
気持ちを切り替え一生懸命走った結果、ベストタイ
ムを出す事が出来ました。この調子で次回も優勝
を目指し頑張ります。

追伸 入院の際には皆様に大変ご心配をおかけしま
した。心からお礼申し上げます。



写真上、第1戦1~3位独占のCMSC勢。左より、1位北村選手、2位荒井信介選手（CMSC群馬）、3位赤羽政幸選手（CMSC山形）。写真下、第4戦も制した北村選手の走り。写真右上、第1戦2位荒井選手の走り。写真右下、第1戦3位赤羽選手の走り。

CMSC岐阜 櫛田正文

全日本ダートトライアル第2戦優勝

CMSC会員の皆さん、元気になっていますか。私、49才になってしまっても頑張っています。まず、今年は全戦入賞と目標を立てました。

第1戦は5位でクリア。第2戦はエボIIにまだ操られ気味で予選ギリギリ通過。夕食のビールも苦く、その夜10年目ぶりのポーリングに誘われました。1ゲーム目、おそろおそろの投げでTOPスコア。これは2ゲーム目200点はいけると、頑張った気力とは裏腹にボールはメロメロでビリ。でも全力投球したら気分はスッキリ、夜もグッスリ眠れました。

決勝当日の1本目。無心無欲でベストを尽くした

今年1勝目。全戦入賞が目標!



タイムが最後まで抜かれずにビックリしました。2本目。路面を見る限りフサフサととれタイムアップできそうでした。気合、気力、欲も満載してスタート。ストレートのブレーキを遅らせ過ぎ、コースアウト気味で一巻の終わり。パドックに戻り、後半ゼ

ッケンのタイムを聞く度にヒヤリ、ニンマリの連続でラストゼッケンの宝田君も終わり、カンゲキ……1勝できました。

これで今年の1勝目標は達成できました。今後も頑張ります。

CMSC群馬 岩田恒廣

全日本ダートトライアル第3戦参戦記

'94全日本ダートトライアル第3戦が4月23、24日栃木県西那須の丸和オートランドにて開催されました。丸和は日本でもハイスピードコースで有名です。全国からの予選参加台数155台中、決勝へ進めるのは120台という厳しい状況でした。特に私の出場するエボリューションのA-4は参加29台中10台が予選落ちになる、ハイレベルの戦いでした。

広いパドックにタイヤメーカー、サスペンションメーカー、各チューニングショップのテント、个性的にカラーリングされている競技車、雑誌でしか見たことのない有名ドライバー等々、いつも

全日本初体験。次は安比だ!

走り慣れているコースなのに自分の気持ちはいつにも増して高ぶりました。高ぶる気持ちを抑えつつ慣熟歩行を一流ドライバーと話をしながら歩く、これだけで満足でした。

1本目、15位。2本目、タイムアップのプレッシャーで頭の中はパニック。色々な事がぐるぐる回って、全日本経験の無い私は自分のコントロールが出来ませんでした。各コーナーをオーバースピードで進入し思い通りに走れず、タイムアップならず21位で予選落ちになりました。予選通過まで5/100秒遅かった! 本当に厳しい世界ですが、これからももっともっと練習して早く決勝で自分の走りが出来るようになるのが夢です。



5月28、29日は岩手県安比第4戦にエントリーだ!!



CMSC帯広 3月13日

雪上練習会

3月13日に更別村の十勝モーターパーク内に設置されたラリーコースを借り切って、今年より始まったスタッドレスタイヤによる雪上トライアルの練習会を行いました。北海道では今年の冬、ほとんどがスタッドレスタイヤによる競技会になっ

スタッドレスでのコツは?

てしまい、当チーム員の成績も全日本ラリーでの小林選手以外は全く芳しくないもので終わってしまいました。

今回の練習会でそのコツを掴もうと走ってはみたものの、結局の所は2トライ目は各車共約10秒のタイムダウンということで、早いゼッケンで走る事が必須条件だったようでした。

ウィンタートライアルは是非スパイクタイヤで行って欲しいものです。(CMSC帯広 中村 洋次)



CMSC札幌 5月1日

スリーダイヤダートトライアル

北海道は冬も終わり、ダート第1戦ジュニアシリーズを初めて開催し、123台と好調なエントリーを集めました。

来季はチャンピオン戦を

小雨の中、運営は宝田選手を中心として、トラブルも無く進行了。終了後、審査委員より「来季はチャンピオン戦をお願いしたい」との言葉をいただき、クラブ員一同とてもうれしく思いました。これからもイベント参加、そして開催に向けて積極的に活動していきます。

(CMSC札幌 吉川 幸彦)



写真班のチョットしたミスで、やっと残った! 枚。

CMSC群馬 大井こずる

全日本ダートトライアル第3戦優勝

今年の全日本ダートトライアルにはエキピですがレディースクラスが設定されました。シリーズを追って戦うのはちょっとつらいけれど、とてもおもしろい。第3戦の丸和。ランサーに乗って楽しく走る事に快感を覚えてきた……こんな事を言ううちちょっと変かもしれないけれど、いい意味での自信が私の中にありました。

1トライはいつもの様にうきじゃり&ウェット。この路面は大の得意。いつもの様に走れ、とても楽しかったです。2トライになって下の固い路面が出てグリップが上がると、自分の苦手意識も手伝ってプレッシャーの様なものが自分を包み、体が堅くなってしまうました。走り出してゴールするまで堅さ

人を感動させる走りをしたい。



がなかなか取れずに、優勝はしたものの走り自体はあまり満足できるものではありませんでした。しかし今回のこのイベントでは、たった2分弱の時間でこんなに興奮できてこんなに感動するものだったの

かと改めて思いました。身内をほめるのも変ですが、私もいつの日か夫の様に人を感動させられる走りが出来たらと思っています。

CMSC広島

4月17日

Jr. ダートトライアル'94

'94年度F地区Jr.ダートトライアルシリーズ第1戦として、中国三菱杯CMSC広島Jr.ダートトライアル'94を開催いたしました。

'94年度より国内車両規則の変更によって、ロールバー取り付けが義務付けとなったための参加台数減

予想を上回るエントリー

少をみこして、当初70~80台の参加台数を予想しておりました。実際には当日125台のエントリーがあり、Jrシリーズ戦としてもまずまずの台数で大会を開催することが出来ました。

競技の方も2台の転倒車が有りましたが、けが人も無く盛況のうちに無事終了することが出来ました。これをステップに、又来年もイベントが開催できるようにクラブ員一同頑張って行こうと思っています。

(CMSC広島 土田幸一郎)



CMSC香川

3月6日

'94CMSCアストロトライアル

'94四国地方ダートトライアル選手権第1戦として、'94CMSCアストロトライアルを主催しました。総参加台数67台、出走台数62台と少なく、'94年も四国のダートトライアル人口は増えそうにありません。

さあ、次はダイヤスターラリー

また参加者にも書類不備等による失格者が出たのは、誠に残念だったと思います。

結果の方は、A4クラスでは上位6台は全てランサーという圧倒的な強さで、その優勝者はCMSC香川の高竹選手('93年度四国シリーズチャンピオン)でした。

CMSC香川の今年の主催イベントはこれで1つ無事に終わり、今は'94CMSCダイヤスターラリー



に向けて準備を始めています。

(CMSC香川 白井 修)

CMSC大阪

5月8日

ジュニアシリーズダートトライアル

'91年から活動を始めた我々のクラブも3年経ち、そろそろクラブとして何か行事を、と言う事でこの5月8日に名阪スポーツランドに於いて近畿地区ジュニアシリーズ第4戦のダートトライアルを開催しました。とは言いましてもCMSC大阪は準加盟と言う訳で加盟クラブとの協賛という形で行いました。

ここ数日の間は一度も雨が降らなかった上に当日も非常に良い天気となり、コース上は多量の砂ほこ

全日本戦と同じコース設定が好評

りで、競技車両が見えなくなるほどでした。しかし各ポストのオフィシャルたちが砂だらけになりながら頑張り、事故もなく競技を進められました。最近ではエントリー数が減少傾向にありますが、今回は140台強の出走台数となった事と、コース設定を全日本戦と同じとした事により、走り甲斐のある競技会となりエントリーにも好評でした。また、特別賞の三菱賞には総合でも1位であったA4クラスのランサーEVが受賞しました。

今回のイベント開催にあたり、オフィシャルおよび運営に携わっていただいたクラブ員の方々とご支援いただいたCMSC本部に対しましてこの誌面を



借りてお礼を申し上げます。今後もさらに頑張りますので宜しくお願いします。

(CMSC大阪 杉本 達也)

ジムカーナシリーズ戦、開幕

CMSC青森 5月15日

'94CMSC青森ジムカーナ

岩木山に残雪を見ながら'94CMSC青森ジムカーナシリーズ戦が今年も開幕しました。「モータースポーツを誰でも手軽に楽しく」を目的に5年前から始めたCMSC青森ジムカーナシリーズ戦は、県内はもとより近県、遠くは関東からの参加者もあり、主催者がびっくりしています。

競技会の運営はジムカーナ部会長の小館を中心と

して開催。今年のコース設定は昨年まで当シリーズ戦連勝の久保田が行い、エントラントの立場になってのコース設定は好評で今年のシリーズ戦は楽しく走れそうです。

また、当日は天気も良く、すぐ近くには家族で楽しめる名所『桜林公園』もあり、行楽に訪れた家族連れもジムカーナ観戦をするなど第1戦は楽しい雰囲気の中で行われました。

今年のシリーズ戦は残り第2戦6月26日(日)、第3戦7月17日(日)、第4戦9月18日(日)となります。クロズド部門も設けましたので、気軽に参



加してみませんか……。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

CMSC栃木 5月22日

スリーダイヤモンドジムカーナ

5月22日CMSC栃木主催の'94スリーダイヤモンドジムカーナが開催されました。昨年同様、90台ベースのエントリーがありました。栃木県シリーズ第2戦ということもあり、エントラントも意気込み満点！天候の方も負けじと好天気！コースは日光スピードパークの利を活かし、主軸パイロン2本のハイスピードタイプのレイアウトに仕上がりました。

1本目完全ドライ。注目のAIIIクラス(35台)トップはやはりランサーエボリューション。Nクラス

ギャラリーも参加できるイベント

も同様ランサーが、まずは王手をかけました。2本目ドライ。しかしAクラス中盤から突然の雨。エントラントによっては明暗を分けた一瞬とも言えたでしょう。とにかく無事トラブルらしいことも無く終了しました。今回は三菱賞の振り分けも、各クラス上位から選抜し表彰しました。表彰式の後、恒例のジャンケン大会で盛り上がりました。ギャラリーも参加できるイベントとして好評です。

来年も、ジムカーナ等のイベントを開催しますので、近県のCMSC会員の方々、三菱車でのお待ちしています。

(CMSC栃木 郡司 義光)



CMSC浜松誕生

CMSC各支部の皆さん、はじめまして。この度18番目の支部となりましたCMSC浜松です。我がクラブは浜松、豊橋などを中心に、東京方面にもクラブ員がおり、一見まとまりがつかない様に思えますが、代表山内伸弥を中心に結団力があり、アットホームなクラブです。クラブ員は約20名(女性1名)

ほどおりますが、ノーライセンスのものもあり、当面JAFクラブ登録は準加盟です。今後加盟クラブに昇格したいと思っておりますが、無理に人数を増やすことなく、仲間を集め、細く長くをモットーに思っております。

我がクラブの活動内容はN1耐久レースに2名、ミラージュカップに2名、全日本ダートトライアルに3名参加しています。他のクラブ員も各サービ

や地方戦のダートトライアル、ラリー、ジムカーナにと、活動していきたいと思っております。

これからの目標は、まずN1耐久レースのクラス優勝、ミラージュカップの参加台数及び人数の増加、全日本ダートトライアルのメダル獲得など。そしてクラブで海外ラリーに参加出来ればと思っております。まだ、出来たばかりのクラブですので、各支部の諸先輩方、ご指導のほどよろしくお願い致します。

帯広が好スタート。さて今年の覇者は？

'94チャレンジカップ

昨年は山形のV7を群馬が阻止。今年はどうな1年になるのでしょうか？クラブ別、個人部門いずれも

白熱した戦いを期待しています。一戦一戦を大切に戦ってポイントを積み上げて下さい。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	800				
群馬	621				
岐阜	465				
山形	403				
大阪	347				
福島	342				
香川	304				
青森	282				
広島	262				
島根	226				
札幌	158				
愛知	122				
仙台	98				
岩手	94				
千葉	87				
栃木	34				
埼玉	13				
浜松	0				

●ラリードライバー部門

小林康弘	帯広	112
渡辺俊明	山形	72
奴田原文雄	札幌	42
勅使川原光	千葉	40
松井孝夫	愛知	34
星光行	仙台	24
丹羽浩道	千葉	21
福本光志	帯広	15
四戸岳也	岩手	10
馬淵貴則	帯広	8
秋間忠之	大阪	8
太西康弘	青森	8

●ラリーナビゲーター部門

伊吹浩明	帯広	162
坂田真一	愛知	34
速藤昇	仙台	24
芦中広勝	帯広	15
朝岡達也	愛知	12
青木功	栃木	12
加藤徹	岩手	10
中村洋次	帯広	8
近藤佐江子	広島	6
因俊郎	愛知	5

●ダートトライアル部門

大井こずゑ	群馬	224
小出久美子	大阪	222
荒井信介	群馬	175
榎田正文	岐阜	174
大井義浩	群馬	170
高竹優之	香川	166
針田信夫	岐阜	144
青沼達也	帯広	143
北村和浩	岐阜	130
岩根つるも	広島	128

●ジムカーナ部門

上泉晃祥	福島	130
須田行雄	福島	106
宮本和彦	福島	66
青沼達也	帯広	60
小館久	青森	46
工藤裕史	青森	42
植田智則	島根	39
杉坂啓一	島根	35
砂塚明男	山形	30
祖田和安	島根	22
伊藤良伸	島根	22

●レース部門

福田光一	山形	36
小出辰彦	愛知	15
高橋滋	仙台	12
小川日出生	山形	10

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A=全日本選手権、地方選手権
但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル
ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ
レースにはフォーミュラ・ミラージュ、ミラージュカップを含む
B=それ以外の競技会